

S+i

SAKURA innovation



櫻丘広報

SAKURAGAOKA-NEWSLETTER



CONTENTS

卒業証書授与式	1
各賞一覧	2
卒業生の言葉	3
進路状況・合格者インタビュー	5
修学旅行	7
校外教育	11
探究学習	12
櫻丘ニュース	13
部活動報告	14
行事予定	15

No. 219

2026.3

日本大学櫻丘高等学校



Graduation

日程:令和8年3月1日(日) 場所:百周年記念館

第65回 卒業証書授与式



令和8年3月1日(日)、日本大学文理学部百周年記念館にて、第65回卒業証書授与式が挙行政され、多くの保護者の皆さまにご列席いただくことができました。生徒全員の呼名も行われ、生徒たちの心に残る大変素敵な式となりました。

本校での3年間、生徒たちは自分たちにできることを考え、精一杯取り組み、大きく成長してくれました。そんな生徒たちを、学校として誇りに思います。そして、新たな一歩を踏み出す本校の卒業生たちが、それぞれの場所で活躍してくれることを信じています。卒業生の皆さん、本当にご卒業おめでとうございます！皆さんの今後の人生に幸多からんことを、教職員一同心からお祈りいたします。



Awards

第65回 卒業証書授与式 名賞一覧

学内からの表彰

卒業証書

卒業生 470名 (総代) 戸村 太紀

日本大学学長賞(学業部門)

及川 春樹

優等賞

26名 (総代) 岩崎 煌

クラブ活動功労賞・努力賞

(総代) 織田 大輔

文系

地場 祥太・畑中 愛友海・瀧田 葵愛・石田 瑞希
露崎 萌果・及川 春樹・後藤 拓・高桑 颯乃
樋渡 脩門・藤城 日菜子・伊礼 絵菜・榎田 陽菜
指田 歩海・森 香菜子・木下 真桜

クラブ活動功労賞

織田 大輔(陸上競技部)
石井 夢佳(ライフル射撃部)
竹田 彩り奈(陸上競技部)
三野 純平(陸上競技部)

理系

今井 菜月・近藤 奏来・松田 優海・飯野 早絢
高野 壮志・戸村 太紀・林 莉穂

クラブ活動努力賞

所 汐莉(チアリーディング部)
真嶋 優(チアリーディング部)
窪田 知世(チアリーディング部)
高桑 颯乃(水泳部)
森 香菜子(水泳部)
中畑 陽(ゴルフ部)
朽岡 朱莉(ライフル射撃部)
茂野 未来奈(スキー部)

特別進学(S)

岩崎 煌・板倉 歩未・金井 祐樹・野村 響

皆勤賞

28名 (総代) 露崎 萌果

精勤賞

92名 (総代) 藤城 日菜子

学外からの表彰

(総代) 野村 響

東京都知事賞 副賞:東京都私学財団賞(奨励賞)

野村 響

日本私立中学高等学校連合会賞

和田 愛里

東京都高等学校体育連盟及び東京都体育協会(体育優良生徒)表彰

織田 大輔・石井 夢佳

東京都吹奏楽連盟理事長賞

東谷 奏楽

東京私立中学高等学校協会第8支部(生徒部委員)表彰

関 毅蔵・田口 咲奈・伊藤 由渚

東京私立中学高等学校協会第8支部(体育優良生徒)表彰

三野 純平・森 香菜子



Students' Voice

卒業生の言葉

3年間を振り返って

4組 簗嶋 柚依

高校生活を振り返ると、多くの気づきを得られた、大切な3年間だったように思えます。私は高校3年間で、いろいろな人と出会いました。特に友人の存在は大きく、様々な影響を受けました。親切な友人と関わる中で、自分も人に親切にしようと思え、目標に向けて頑張る友人を見て、自分も頑張ろうと刺激を受けました。一方で、自分にはないものを持つ友人と比べて自信をなくし、人間関係に悩むこともありましたが、それも自分にできることを探し、努力しようと思えるきっかけになりました。今も人と比べたり、なかなかうまくいかないこともあるけれど、悪いことではないと知れたので、うまく活用して成長していこうと思います。

また、人と関わることで視野が広がったように思います。私は視野が狭く、いろいろな視点から考えるのが苦手でした。しかし、自分と異なる性格の友人や、周りの人と関わる中で、考えの幅が広がりました。それにより、今まで無意識に排除していた考え方にも注目するよ

になり、視野が少し広がったように感じます。そのような高校生活の中で特に印象に残っているのは、普通の学校生活です。友人と一緒にいろいろな先生の授業を受けたり、話したり、数学の問題を悩みながら解いたときなど、誰かと同じ時間を共有することが楽しく、学校生活の支えになっていました。それは友人だけでなく、先生方や家族の存在など、たくさんの人の支援があったから、充実した3年間を送ることができたと思います。高校を卒業したら、会う機会がなくなる人が多いかもしれませんが、だからこそ、高校生活の中で持つことのできた関わりや思い出を大事にして、今後に活かしていきたいです。

私は3年間の高校生活を通して、人との関わりは、普通の日常でつくられていくものだと感じました。今まで学んだことを活かし、これからも、関わる人たち1人1人と、普通の日常を大切に、誰かと良い影響を与え合える関係を築いていきたいです。



『自立する』とは何か

6組 川崎 心暖

私は、この高校3年間で何か成長したのだろうか。ふとそう考えたときに、一番最初に出てきた言葉は『自立』だった。

私は中学生のころまで、自分自身の長所を他人の力を借りず、自分で考え行動できることだと思っていた。しかし、それは間違っていたのだ。高校に入学してすぐ、周りや仲良くなるには自分から積極的に話しかけなければいけないことを知った。部活動は生徒たちだけで練習メニューを考えなければいけないことを教えてもらった。テストに向けた勉強も、宿題と少しの自習だけでは追いつけないと痛感した。私が今まで長所だと思い、周りに話していた内容は何だったのだろうかと思った。恥ずかしい気持ちにはなったが、高校で自分の無力さに気づくことができてよかったと思う。

自分の勘違いに気づいてから、私は少し変わったように思う。入学したころに比べると、周りをよく見るようになった。これは、ほんの少しの一步でも、積み重なって大きな力になったと思う。特に3年生

になってからは、大学進学のことや自分が成人することをよく考えるようになった。特に成人することに関しては、親の力を借りずに生活していくことが求められる。そうするとどうしても、自立することを意識してしまう。学校や勉強以外にも、1人で生きていく力が必要になるため、これからは努力を怠らずに生活していきたい。

私はずっと、自立することを目標にしているが、実際は人の力を借りないと生きていけないと感じている。現に今も、家族や友達、先生方の力がなければ何もできていないと思う。感謝の気持ちを忘れたわけではないが、このまま甘えていても私は成長できない。自分自身が成長するため、ひいては今後の人の成長を手助けするため、これからも考え続けていきたい。そして、本当の自立とは何なのかを、追求していきたい。



点数以上の3年間

5組 石井 夢佳

高校に入学して、私はライフル射撃部というめずらしい部活に出会いました。入部当初の私は、これほどまでに射撃に打ち込むようになるとは想像していませんでした。軽い気持ちで始めた部活動であり、自分が部長を務めたり、全国大会やJOCといった大きな舞台に立ったりすることなど、少しも考えていませんでした。

部長になってからは、チームをまとめなければならないというプレッシャーと、自分の記録が思うように伸びない焦りから、苦しい時期が続きました。そんなときに私を救ってくれたのは顧問の先生と仲間の存在でした。先生は何度も話を聞いてくださり、的確なアドバイスで導いて下さいました。そして仲間たちは、部長の仕事を率先して代わりにやってくれたり、練習中にたくさん話しかけて私を笑わせてくれたり「部活は楽しむもの」ということを教えてくれました。同級生が引退して、1人で全国大会に向けて練習していたときも、受験勉強の合間を縫って様子を見に来てくれたり、応援メッセージ

を書いてくれたりしました。私は先生や仲間がいたからこそ「最後までやり抜こう」と自分を信じて進むことができました。また、部活動だけではなく、日々の勉強にも一生懸命取り組むことができたのは、こうした支えがあったからです。

今振り返れば私が高校3年間でこんなに成長することができたのは、切磋琢磨し合える仲間や私の性格を理解して寄り添ってくださった顧問の先生との出会いがあったからこそです。素晴らしい顧問の先生や仲間に恵まれるこの部活に入って本当に良かったと心から感じています。ライフル射撃部での活動は、私に粘り強く努力し続けることや自分を信じることの重要性を教えてくださいました。ここで得た経験を糧に大学入学後や社会人になっても周りへの感謝を忘れず、挑戦し続けていきたいです。



当たり前の日々が教えてくれたこと

7組 野口 稜真

高校生活の3年間を振り返って、今、私の心に真っ先に浮かんでくるのは、華やかな文化祭でもなければ輝かしい体育大会でもない。それは、友人と他愛もない話で笑い転げた昼休み、夕暮れ時の帰り道に交わした言葉といった、何気ない日常の風景だ。3年前、少し大きめの服に身を包んで校門をくぐった入学式の日、私はこれほどまでに「日常」を愛しく感じるようになるとは想像していなかった。

1年生の頃の私は、新しい環境に馴染めるか不安で、どこか自分の殻に閉じこもっていた。しかし、そんな私の心を解きほぐしてくれたのは、周りの友達たちのさりげない優しさだった。テスト前に教室に残り一緒に頭を抱えて勉強したことや、部活帰りに将来の夢を語り合ったこと。ひとつひとつは小さな出来事かもしれないが、その積み重ねが私の居場所を作ってくれた。特別な何かがなくても、ただ皆と同じ空間にいただけで心が満たされる。そんな「当たり前」の尊さを、私は日々の生活の中で学んでいった。また、この3年間は、自

分が多くの支えの中で生きてきたことを痛感する期間でもあった。進路に悩み、自分の不甲斐なさに落ち込んだ時期、家族は「いってらっしゃい」と言って、毎日温かいお弁当を持たせてくれた。先生方は、私の迷いに真剣に向き合い、納得がいくまで相談に乗ってくださった。自分が一人で歩いているつもりでいた道は、実は多くの人の手によって整えられ、見守られていたのだと気づいた。

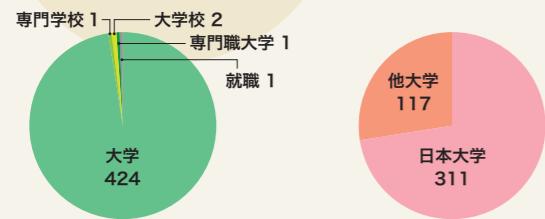
4月から、私たちはそれぞれ別の道を歩み始める。新しい環境では、再び不安や困難に直面することもあるだろう。しかし、この3年間で得た「人の温もり」や「支え合うことの心強さ」という宝物があれば、きっと乗り越えていける確信がある。当たり前の日々がくれた多くの笑顔と感謝を胸に、私は一歩ずつ、未来へと進んでいきたい。心から「ありがとう」と伝えたい。



Graduates 進路状況・合格者インタビュー

進路状況 (令和8年3月17日現在)

進学総計 ▶ 428名



進路状況総計

	日大	他大	合計
学部	310	114	424
短大	0	0	0
専門学校	1	0	1
大学校	2	2	2
専門職大学	1	1	1
通信教育	0	0	0
海外進学	0	0	0
就職	1	1	1
合計	311	117	429

日大進学状況

	推薦	総合型・公募・指定校	一般	合計
学部計	298	2	10	310
短大	0	0	0	0
専門学校	1	0	0	1
通信教育	0	0	0	0
総合計	299	2	10	311

他大学等進学状況

	指定校	総合型・公募	一般	合計
学部計	43	13	58	114
短大	0	0	0	0
専門学校	0	0	0	0
大学校	0	2	0	2
専門職大学	0	1	0	1
通信教育	0	0	0	0
総合計	43	16	58	117

合格状況

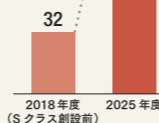
大学(短大・専門含む)

東京海洋大学	1	専修大学	2	女子栄養大学	1	和洋女子大学	1
信州大学	1	関西大学	3	清泉女子大学	1	国際ファッション専門学校	1
名古屋大学	1	東京女子大学	4	創価大学	1	防衛大学校	2
早稲田大学	3	日本女子大学	3	拓殖大学	1	防衛医科大学校	1
慶應義塾大学	1	星薬科大学	1	玉川大学	1		
上智大学	4	東京薬科大学	4	千葉工業大学	1		
東京理科大学	3	明治薬科大学	2	帝京大学	2		
学習院大学	7	聖路加国際大学	1	帝京平成大学	1		
明治大学	19	麻布大学	1	東海大学	4		
青山学院大学	13	亜細亜大学	2	東京有明医療大学	1		
立教大学	10	大妻女子大学	1	東京家政大学	1		
中央大学	16	神奈川大学	1	東京工芸大学	1		
法政大学	37	北里大学	3	東京電機大学	4		
成蹊大学	16	京都精華大学	1	東京都市大学	7		
成城大学	12	工学院大学	4	東京農業大学	7		
明治学院大学	9	国士舘大学	2	東邦大学	1		
国学院大学	5	実践女子大学	1	東邦音楽大学	1		
武蔵大学	3	芝浦工業大学	7	日本獣医生命科学大学	2		
東洋大学	13	順天堂大学	1	武蔵野大学	5		
駒澤大学	3	昭和女子大学	3	明星大学	5		

国公立・早慶上理・GMARCH 関関同立の合格者大躍進!

372%

(2018年度比)



日本大学進学状況

学部 4年制

学部	基礎学力選抜	付属特別選抜	国公立併願方式	追加募集	付属推薦進学総計	総合型公募指定校	一般入試	進学総計
法学部	58	16			74		1	75
法学部(二部)	1				1			1
文学部	58	6			64		3	67
経済学部	31	19			50	1		51
商学部	10	7			17			17
芸術学部	12				12	1		13
国際関係学部					0			0
危機管理学部	3	1			4		1	5
スポーツ科学部	6	1			7		1	8
理工学部	24	13	1		38		3	41
生産工学部	4	3			7		1	8
工学部					0			0
医学部					0			0
歯学部					0			0
松戸歯学部					0			0
生物資源科学部	17	5			22			22
薬学部	1	1			2			2
学部計	225	72	0	1	298	2	10	310

短期大学部

学部	基礎学力選抜	付属特別選抜	国公立併願方式	追加募集	付属推薦進学総計	総合型公募指定校	一般入試	進学総計
短大三島					0			0
短大船橋					0			0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0

専門学校

学部	基礎学力選抜	付属特別選抜	国公立併願方式	追加募集	付属推薦進学総計	総合型公募指定校	一般入試	進学総計
看護専門					1			1
歯)歯科衛生					0			0
歯)歯科技工					0			0
松戸)歯科衛生					0			0
合計					1	0	0	1

日大編 合格者インタビュー



池田 裕翔

日本大学 文理学部 教育学科

Q1 櫻丘高校を選んでよかったことを教えてください。
日大櫻丘高校に来ることで、コミュニティを広げることができたと感じました。私は都外から櫻丘高校に通っており、入学時に知っている人は1人もいなかったのですが、同じクラスの人や同じ部活の人と仲良くなることができ、3年間楽しく過ごすことができました。

Q2 勉強のモチベーションを保つためにやってきた工夫を教えてください。

私は勉強のモチベーションを保つために、定期テストや基礎学力到達度テストが終わった後に楽しみなことを予定に入れて、モチベーションを保っていました。また、好きなお笑い芸人のネタを見るために劇場まで行ったり、好きなアーティストのライブを見に行ったりするなど、息抜きをする時間を作るようにし、勉強をするときとしないときのメリハリをつけるようにしていました。

Q3 工夫した勉強方法はありますか？
私は毎日満員電車に乗って登校していたので、テキストなどを持って勉強することが難しかったため、スマホにあらかじめ写真を撮って、電車の中で勉強していました。ただ、スマホにはゲームやSNSなどたくさんの誘惑があるので、しっかり自分を律することが大切です。



赤坂 美里

日本大学 生物資源科学部 獣医学科

Q1 自分の夢を叶えるために、どのようなことをしてきましたか？

私は高校1年生の頃から獣医学科への進学を目標にしていたのですが、正直自分には難しいのではないかという不安もありました。進路を聞かれるたびに「獣医」と答えていたものの、自信があったわけではありません。それでも言い続けることで自分の覚悟を固め、簡単には諦められない状況をつくっていたのだと思います。はじめから諦めず自分なりの努力を続けてきたことに意味があったのだと感じています。

Q2 これから受験を控える後輩へ向けたメッセージをお願いします。

日頃のテスト勉強を大切にしてほしいです。目標が明確にある人も、まだ迷っている人も、点数だけに捉われるのではなく、まずは勉強の習慣を身に付けてみてください。たとえテスト前だけでも、その1、2週間しっかり勉強することが大切だと思います。その積み重ねが力になり、いざというときに自分の支えになります。適度に息抜きをしながら無理せず、自分のペースで頑張ってください！

他大編 合格者インタビュー



木山 和可菜

中央大学 文学部 人文社会学科 学びのパスポートプログラムスポーツ文化系

Q1 勉強をするうえで意識したことはありますか？

一般受験の勉強も大切にするということです。両立は大変ですが、一般受験の対策として勉強した知識は、総合型選抜での面接や小論文、学科試験など様々な場面で役に立ちます。逆も然りです。他には、小論文対策で書写をしていました。新聞の社説の部分を一文一語暗記してノートに写す訓練です。正しい日本語を学ぶだけでなく、時事問題を学ぶ機会を増やせて、現代文対策にもなりました。大学で学びたいことの論文を読むこともおすすめです。

Q2 受験前、入試方法(総合型選抜)を決めた時期と、その理由はありますか？

元々、一般受験しか考えていませんでしたが、面接などで話すことが得意な私の強みを活かせるという考えから、母が総合型選抜での受験を勧めたので、高校1年の5月頃に受験を決めました。総合型選抜は、大学とのマッチングが重要なので、自分にあった大学を何度も考えた結果、出願先を決めたのは3年の4月頃です。昔から憧れていた大学でも、色々調べうちに違うと思う変更することもありました。大学は、学びたいことを学ぶ場です。特に総合型選抜は学びたいことが重視されるので、出願した大学がすべて私にとって第一志望でした。



河邊 琴音

明治大学 国際日本学部 国際日本学科

Q1 受験期の1日の時間の使い方を教えてください。

8時半頃に起きて勉強を開始していました。8時半から12時半は日本史と英語を中心に勉強していました。日本史は暗記、英語は長文読解をしていました。その後昼食を食べたり休憩したりして、また14時頃再開していました。私の塾は16時半開室だったのでそれまで家で勉強して塾に行き、終了時刻の21時過ぎまで塾で演習等をしていました。また、毎日寝る前に1時間復習の時間を取っていました。

Q2 受験を乗り切る「コツ」を教えてください。

勉強面では最後まで基礎固めを怠らないことだと思います。毎日一定時間はどの科目も暗記をしていました。結局1番出るのは基礎知識で、そのような問題を落とすと悔しさが倍増するので、コツコツやり続けることが大事です。また、息抜きも適度に取ると良いと思います。私は月に1度くらいの頻度で映画を見たり、展示会に行ったりと半日から丸1日の楽しむ日をつくっていました。この日のために勉強を頑張るという気持ちができるので勉強のモチベーションにもしていました。



近藤 央基

明治大学 総合数理学部 現象数理学科

Q1 志望校合格のために、どのような努力をしていましたか。

模試や過去問から、自分の弱点を具体的に把握し、問題集等を使って克服していくことを繰り返していました。特に自分は物理が周りより遅れてしまっていたのですが、このサイクルを継続することで効率的に力をつけることができました。また、疑問点は友達や先生方に確認してもらっていました。これを心がけることで正しく深い理解が得られ、入試での得点に繋げることができたと思います。

Q2 これから受験を控える後輩へ向けたメッセージをお願いします。

受験は自分との戦いと思われませんが、私は一緒に勉強する仲間や気軽に相談や質問ができる先生方がいる環境があったからこそ成長することができたと思います。これから受験を迎えるにあたって、孤独感を感じることもあるかもしれませんが、そんな時は周りの人を頼ることが一番の解決策だと思います。自分の置かれている環境を最大限活かして、最後まで仲間と駆け抜けていって欲しいです。



ユニバーサル・スタジオ・シンガポール



市内研修

School Trip

日程: 令和7年 [A組]12月5日(金)~10日(水) [B組]12月6日(土)~11日(木) [C組]12月7日(日)~12日(金)
 場所: シンガポール・マレーシア

第2学年 修学旅行



櫻イノベーションが掲げる「グローバル教育×ダイバーシティ」の一環として、昨年度に引き続き、第2学年はシンガポールおよびマレーシアへ修学旅行に行きました。シンガポールでは、現地の大学生とともに市内を巡る班別自主研修(B&Sプログラム)を実施しました。生徒たちは自分たちで計画した研修地を訪れ、多様な文化が共存するシンガポールならではの雰囲気を感じることができました。さらに、シンガポール動物園やユニバーサル・スタジオ・シンガポール、リパークルーズなども体験し、現地の魅力を存分に味わいながら、友人との親睦を深め、数

多くの思い出を作ることができたようです。また、マレーシアでは現地の学校との交流を行いました。これまで学んできた英語を用いながら、伝統的な遊びやクイズを通して文化や価値観の多様性に触れ、同世代の生徒と積極的にコミュニケーションを図ることができました。この経験は、生徒たちにとって大きな自信につながったようです。4泊6日の修学旅行を通して、生徒たちの生き生きとした笑顔を数多く見ることができ、教員一同、大変嬉しく感じています。



市内研修



マレーシア学校交流



ユニバーサル・スタジオ・シンガポール



マレーシア学校交流



「分かることで広がった世界」

A班 5組 喜納 真優

修学旅行でシンガポールとマレーシアを訪れ、世界は実際に体験することで理解の仕方がより深まるものだと感じました。異なる文化や街の雰囲気、人々の暮らしを自分の目で見て触れたことで、海外についての見方がより具体的で立体的になったように思います。

写真や言葉で知っているつもりでも、実際にその場に立って初めて分かることは多く、その一つ一つがとても印象に残っています。クルーズ船から見たマライオンやマリナーベイサンズの景色は想像以上で、夜の光に照らされた建物や水面に映る景色はとても美しく、思わず目を奪われました。また現地では中国語を使って案内の方や街の人と話す機会が沢山ありました。言葉が通じることで会話が自然に広がり、相手の表情が柔らかくなるのを感じました。中国語が話せると分かることと驚かれ、楽しそうに話しかけてくれたことを今でも

よく覚えています。周囲から頼られたり、会話に加わることができたりした経験は自分にとって大きな自信になりました。さらに、家族旅行などで海外に行く機会は今後も多いが、学年やクラスの仲間と一緒に海外を訪れる経験はもう無いと思います。慣れない環境で、みんなでバカ笑った時間を懐かしく感じ忘れられない思い出となりました。

この旅で、相手の話している言語が分かるだけでなく、自分もその言語を使って思いを伝えられるとなると、世界の見え方が大きく変わるのだと実感しました。言語はテストのために覚えるものではなく、人と人をつなぎ、世界を広げてくれる大切な道具だと思います。今回の経験をきっかけに、これからは英語にもさらに力を入れ、より多くの国の人と自分の言葉で関わりたいです。

「新たな視点」

B班 10組 佐藤 里歌子

入学前から楽しみにしていた修学旅行が終わった。日々の学校生活を送るうえで楽しみとなっていた修学旅行は始まってしまえば一瞬でかけがえのない貴重な思い出と、学校生活最後の宿泊学習が終わり、もう二度とクラスで旅行に行くことがない事実を実感した切ない感情を残して過ぎ去っていった。

ユニバーサルスタジオシンガポールやシンガポール動物園で過ごした楽しい時間だけでなく、慣れない食事や慣れない現地の生活習慣におどろき苦戦した時間も全て修学旅行が残してくれた大切な思い出である。

そんなたくさんの思い出の中でも私は現地のバスガイドの方が日本とシンガポールの戦争の歴史を現地の人々の目線で解説してくださった時間が一番印象に残った。正直、私はシンガポールが第二次世界大戦で日本が関わった国の一つであるという知識程度のことしか知らなかったがその日、現

地の人の目線から語られる歴史を聞いたことで教科書に書いてある数行の文章からは感じることはできなかった当時も今と変わらぬ日常を営みながら生きていた人々の存在を生々しく実感した。

そして私は、物事を視点を変えて捉えることでこれほどまでに自分の知っている世界が変わるものかと衝撃を受けた。

私は今回の旅行を経て暮らしやすく食事の美味しい日本で生活することができているありがたさを改めて感じた。これは普段何気なく過ごしていた日々を他国を知り、新しい視点で見つめ直したことで初めて得た気づきである。私たちの視点からみて慣れないと感じた習慣も食事も現地の人々の視点から見ると最も安心することができるかけがえのないものではないか。今回の修学旅行はこれから大人になり国際化された社会で生きていくうえで大切な考え方を学ぶことができた有益な六日間だったと感じる。

「交差点」

C班 3組 小田原 光政

信号が変わり、道を渡ると様々な人種の人達が行き交う。そんな異国の地「シンガポール」にて始まった約五日間に渡る修学旅行は自分にとってとても大きな刺激になった。実は僕は、小さい頃にもシンガポールを訪れたことがある。しかし当時は、目に映る景色をただ楽しむだけで深く考えることはなかった。今回改めて訪れてみると、同じ街でありながら、授業で習った文化や人々の暮らしの背景まで考えるようになり、見え方がまるで別世界のように変わっていた。こうした街や文化への気づきは、友達と共に行動する中で、より強く感じられた。特にB&Sでは、海外の電車に乗ってチャイナタウンやアラブストリートなど、多様な国の文化に触れる貴重な機会になった。また、この修学旅行はシンガポールだけではなくマレーシアにも訪れた。マレーシアの学校の生徒は、皆ウェルカムであやふやな英語で不安だった自分を忘れるくらい多くの交流ができた。言語の壁を超えるだけでなく、異

国の文化との向きあい方やコミュニケーションの取り方などを非日常的な体験を通じて学べた。これらの行程以外でもUSSや市内研修など盛りだくさんだったが、日を重ねる度に友達とたくさんの思い出ができた。

この行事を通じて、シンガポールはただの観光地ではなく、様々な文化や価値観が行き交う「交差点」だと思った。中国系、マレー系、インド系など多様な文化、複数の公用語、近代的な街並みと昔からの文化が残る地区など、これら全部が同じ場所で交わっている国。このような所から世界の交差点だと感じた。更に、自分の中で普段の日本での当たり前と海外で見た価値観がぶつかるような自分の考え方が変わったという点でも「交差点」だ。国と文化の交差点と自分の価値観の交差点の二つを強く実感した旅だった。今回の体験を大事にして、これからの社会で重要になってくる異文化理解を大切にしていきたい。



Extracurricular Activities

日程: 令和7年12月12日(金) 場所: 鎌倉

第1学年 校外教育



令和7年12月12日(金)、第1学年は古都「鎌倉」にて校外教育を実施しました。

校外教育に向けて各クラスで班を編成し、事前学習ではiPadを活用しながら見学コースの選定や訪問先の歴史について調べました。当日は、事前学習の成果を生かしながら行動し、改めて鎌倉の文化や歴史を身近に感じることができました。また、来年の修学旅行を見据え、集団行動の大切さや仲間と協力することの重要性を学ぶ貴重な機会となりました。



Sakura Learning

探究学習

これからの社会においては、答えのない課題に対して自分なりに学び、考え、自分なりの答えを導き出していく力が不可欠です。本校では、そうした力を身につけるべく、様々な探究学習の機会を設定しています。

第1学年 探究学習×プレゼンテーション

第1学年では、グループごとに地域の課題を見つけその解決策を検討する探究活動を行いました。生徒たちは多角的な視点から地域社会を見つめ、情報収集や意見交換を重ねながら課題の本質に迫り、それぞれが主体的に役割を担い、互いの考えを尊重しながら議論を深める姿が見られました。また、クラスごとのプレゼンテーションも行われ、これまでの探究活動で調査・検討してきた成果を、各グループで発表しました。発表では、地域が抱えるさまざまな課題に着目し、現状の分析とともに具体的な解決策が示されたり、スライドなどを活用して聞き手に分かりやすく伝えようとする工夫も見られました。今回探究活動を通して、生徒達の思考力や表現力の向上がうかがえました。今後も本活動で得た学びを生かし、生徒たちがさらに成長していくことを期待しています。



第2学年 探究学習

第2学年では、探究学習×キャリア教育として、「志望理由書の組み立て方」をテーマに学習を行いました。授業ではまず、自分の興味・関心を整理するとともに、これまで打ち込んできた経験を振り返りながら、自身の特長や強みを見出す活動に取り組みました。自己理解を深めることで、進路選択に対する主体的な姿勢を育むことを目指しています。さらに、社会人の方を講師としてお招きし、大学での学びの先に広がる仕事や社会との関わりについてお話を伺いました。生徒たちにとって、将来やりたい姿を具体的に思い描く貴重な機会となりました。生徒たちはこの活動を通じて、将来やりたいことと志望校での学びとのつながりを整理し、自らの夢や目標をより具体化させることができたようです。本校では今後も、生徒一人ひとりが主体的に進路を切りひらいていけるよう支援していきます。



第3学年 特別授業

第3学年の進路決定者を対象に12月から特別授業を実施しました。この特別授業は、グループごとに課題を設定し、その解決策について調査・討論を行い、最終的にクラスで発表を行うというものです。今回生徒たちは、以下のようなテーマを取り上げました。

今回のテーマ
「フェイクニュースに騙されないためには」
「修繕が必要な道路をAIで見えないか」
「こどもの体験格差について」 など

生徒たちは、積極的に調べ学習を行い、活発に議論する様子が見られました。また、プレゼンテーションにおいては「ロイロノート」や「Canva」などのアプリを活用し、相手に伝わりやすい発表になるよう工夫を凝らしていました。特に各班独自のアニメーションやグラフィックを用いて発表に臨む姿は大変印象的でした。



Sakuragaoka News

櫻丘ニュース

12月 生徒会企画検討会

12月18日(木)・19日(金)、生徒会中央委員による企画検討会が行われました。この検討会は、来年度の生徒会行事をより充実したものにするため、また全生徒に楽しんでもらえるものにするために実施されています。当日は、学級委員会・整備美化委員会・文化祭実行委員会・体育大会実行委員会・部活動代表委員会の代表生徒が、来年度の行事について真剣に考え、積極的に議論が交わされました。生徒たちからは、「来年度の行事を今年度よりもさらに良くしたい」という強い思いが感じられ、大変実りある検討会となりました。



12月 公認会計士・税理士入門講座

12月19日(金)、3年生を対象に公認会計士・税理士入門講座を実施しました。当日は、経済学部・商学部・法学部への進学を志望する生徒を中心に多くの参加があり、将来の資格取得を見据えた学びの機会となりました。講座では、資格の大原より講師の先生をお招きし、簿記の基礎的な学習方法や、資格試験に向けた効果的な勉強の進め方について具体的なお話をいただきました。あわせて、大学におけるキャリア教育の現状や、資格取得が将来の進路選択にどのように活きるのかについても紹介され、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。講座後にはメモを取りながら質問をする姿も見られ、進路への意識を一層高める有意義な時間となりました。今後の学びや将来設計を考える上で、大きな刺激となる講座となりました。



1月 大学入試壮行会

令和8年1月8日(木)、大学受験を控えた3年生を励ますため、大学入試壮行会を実施しました。一般選抜を目前に控えた受験生が体育館に集まり、心を一にする温かい時間となりました。はじめに学校長から激励の言葉が贈られ、これまでの努力を称えとともに、本番に向けた心構えが語られました。続いて受験生代表が、仲間や教職員、家族への感謝と力強い決意を述べ、大きな拍手に包まれました。また、学校から記念品として鉛筆やキットカットが贈られ、会場は和やかな雰囲気になりました。受験生たちは多くの支えを実感し、本番に向けて気持ちを新たにされた様子でした。



先生方からのメッセージ

1月 共通テスト自己採点

1月17日(土)、18日(日)の2日間、大学入学共通テストが実施され、本校からは約100名もの生徒が受験に臨みました。翌日には本校にて自己採点が行われ、自分たちの結果をしっかりと振り返っていました。受験生達はしっかりと結果を振り返り、各大学の一般選抜に向けた意識をより高めている様子でした。



1月 社会人講演会

1月24日(土)、1年生特別進学(S)クラスの生徒を対象に、保険会社に勤務する社会人講師による講演会を実施しました。講演では、「SNS等で『コイチは値段が高い』と言われるのはなぜか」という身近な事例を題材に、企業活動や価格設定の背景について考察しました。グループワークを通して、生徒は資料を読み取り、原材料費や人件費、付加価値など多角的な視点から意見を

まとめていました。今回の講演を通して、課題発見力や分析力、協働して考える力の大切さを実感する有意義な機会となりました。



Club Activity Report

部活動報告

卓球部

第43回第8支部新人卓球大会 高校男子学校対抗第2位
第43回第8支部新人卓球大会 高校男子シングルス第3位 森 奏太

美術部

令和7年度 東京都私立中学高等学校協会第八支部 連合美術展覧会
絵画の部 銅賞 青山 陽花 竹下 文乃
令和7年度 明るい選挙啓発ポスターコンクール
佳作 小林 咲良

剣道部

東京都高等学校新人剣道大会 都大会出場 男子団体

写真部

令和7年度 東京都私立中学高等学校協会第八支部 連合美術展覧会
写真の部 銀賞 鈴木 稀々華

チアリーディング部

USA Regionals 2026 東京大会
高等学校編成 Show Cheer部門 Novice 第1位

バドミントン部

令和7年度 東京都私立高等学校協会第8支部バドミントン競技大会
女子団体 第3位

吹奏楽部

第49回 東京都高等学校アンサンブルコンテスト
金管八重奏 金賞 木管八重奏 金賞

ライフル射撃部

令和7年度 関東高等学校ライフル射撃競技選抜大会
BP60J 第6位 犬塚 仁哉
2025年度 東京都BR・BP選手権大会
BRS60W 第5位 森下 和香
BR60MW 第4位 岩崎 晃希
令和7年度 東京都高等学校ライフル射撃競技新人大会
BRS60M 第8位 染野 凪音
BRS60W 第1位 飯島 愛梨 第3位 森下 和香
第4位 吉野 唯花 第7位 中村 瞳子

テニス部

東京都高等学校新人テニス大会(団体の部)
男子 ベスト32
東京都私立中学高等学校テニス選手権大会(団体の部)2024
男子 ベスト32

ゴルフ部

関東高等学校ゴルフ選手権 冬季決勝大会
女子 個人の部 84位 下原あおい

Teachers

本校の発展に大いに貢献いただきましたこと感謝申し上げます。

【異動】



高森 悠也 教諭 [理科]

令和7年度の人事異動により、令和8年4月1日付けで日本大学明誠高等学校へ異動となりました。先生は平成26年度より本校に奉職され、熱心な指導をされてきました。校務分掌では特に広報部副主任として活躍され、本校の広報活動に大きくご尽力いただきました。また、部活動ではバドミントン部や女子サッカー部などの顧問を務められ、生徒たちの活動をサポートいただきました。先生の今後のさらなるご活躍を祈念しております。

【退職】



松村 一政 教諭 [理科]

令和8年3月31日に定年を迎えられ、ご退職になりました。先生は、昭和59年に大学をご卒業後、日本大学明誠高等学校の理科教員として奉職され、平成2年から本校にて教鞭をとられました。本校では学年主任・進路指導部主任・生徒会指導部主任・生活指導部主任などを歴任され、多岐にわたってご活躍されました。また部活動では、男子サッカー部やスキー部などの顧問を務められ、生徒たちの活動をサポートいただきました。先生の今後のさらなるご活躍を祈念しております。



関 睦 教諭 [国語科]

令和8年3月31日付けでご退職となりました。先生は平成20年度より本校に奉職され、熱心な指導をされてきました。校務分掌では教務部や図書部、広報部などでご活躍されました。また、部活動では卓球部の顧問を務められ、生徒たちの活動をサポートいただきました。先生の今後のさらなるご活躍を祈念しております。

人事

Schedule Calendar

今後の行事予定

2026

4月

- 7日(火) 入学式
- 8日(水) 始業式・対面式・部活動紹介
- 9日(木) 【1年生】ガイダンス・ネットリテラシー講座
【2・3年生】LHR
- 10日(金) 【1年生】新入生校外教育(12日まで)
【2・3年生】スタディサポート
- 11日(土) 【2・3年生】授業開始
- 14日(火) 【1年生】LHR(文理学部キャンパスツアー含む)
iPad配布
- 15日(水) 【1・2年生】基礎学力到達度テスト
【3年生】家庭学習日
- 16日(木) 【3年生】基礎学力到達度テスト
【1・2年生】家庭学習日
- 17日(金) 【1年生】スタディサポート
- 18日(土) 保護者会(家庭学習日)
- 20日(月) 【1年生】授業開始
- 21日(火) 健康診断
- 23日(木) 【3年生】午後進路説明会(生徒対象)
- 25日(土) 避難訓練(火災)

5月

- 9日(土) 第1回授業公開 4時間目 生徒会行事(生徒総会)
- 18日(月) 教育実習開始(6月6日まで)
- 20日(水) 第1回定期考査(23日まで)
- 30日(土) 【2年生】4時間目 ネットリテラシー講座
- 31日(日) 英検(希望者)
文理学部体験授業



6月

- 3日(水) 【3年生】Gクラス日大チャレンジ模試
Sクラス進研共通テスト模試
- 18日(木) 午前 授業 午後 櫻高祭準備
- 19日(金) 櫻高祭準備
- 20日(土) 櫻高祭(21日まで)
- 22日(月) 復元・LHR
- 23日(火) 櫻高祭代休

7月

- 1日(水) 第2回定期考査
【1・2年生】4日まで【3年生】3日まで
- 4日(土) 第1回学校生活アンケート
【3年生】学年行事
- 6日(月) 家庭学習日
- 7日(火) 【1年生】成城警察講話・進路説明会
【2・3年生】LHR
ルーブリック
- 8日(水) 答案返却日
- 9日(木) 家庭学習日
- 10日(金) 【1・2年生】進研記述模試
【3年生】進研記述模試(S全員・G希望者)
- 11日(土) 面談日(14日まで)
- 13日(月) 進学相談会(14日まで)
ニュージーランド中期留学出発(9/28帰国)
- 15日(水) 家庭学習日
- 16日(木) 【1年生】学部訪問
【2年生】出張講義
- 17日(金) 家庭学習日
英国語学研修出発(8/1帰国)
- 18日(土) 終業式
- 21日(火) 【1・2年生】夏期講習(25日まで)
- 22日(水) 【3年生】夏期特別講習(30日まで)

行事予定は変更になる可能性があります。詳細につきましては、4月に配布いたします学校行事年間予定表をご覧ください。